

平成18年度 決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	19,155	18,885	△ 269	(注1)
施設整備費補助金	1,725	1,740	15	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	96	201	105	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	82	82	-	
自己収入	26,807	28,833	2,026	
授業料、入学料及び検定料収入	7,927	8,086	159	(注2)
附属病院収入	18,646	20,398	1,752	(注3)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	234	348	114	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,370	4,520	1,150	(注5)
長期借入金	3,529	3,528	0	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	114	29	△ 85	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	402	544	142	
計	55,280	58,366	3,086	
支出				
業務費	43,136	43,808	672	
教育研究経費	22,976	22,090	△ 885	(注6)
診療経費	20,160	21,717	1,557	(注7)
一般管理費	1,094	1,245	151	
施設整備費	5,336	5,350	14	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	96	201	105	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,370	4,122	752	(注8)
貸付金	-	9	9	
長期借入金償還金	2,248	2,215	△ 32	(注9)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	55,280	56,953	1,673	
収入-支出	-	1,412	1,412	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算額に前年度からの繰越額のうち使用見込額270百万円を含んでいたが、平成18年度に措置された予算の範囲内で賸われたため、予算金額に比して決算金額が269百万円少額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成18年度入学者の増加等により、予算金額に比して決算金額が159百万円多額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、手術件数の増加等により、予算金額に比して決算金額が1,752百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、特許出願支援金収入の増加等により、予算金額に比して決算金額が114百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった国等(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が1,150百万円多額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、人件費削減や退職給付の予算額に対する減少等により、予算金額に比して決算金額が885百万円少額となっています。
- (注7) 診療経費については、手術件数の増加等により、予算金額に比して決算金額が1,557百万円多額となっています。
- (注8) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が752百万円多額となっています。
- (注9) 償還時期の変更等により、予算金額に比して決算金額が32百万円少額となっています。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

- (1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。
- (2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。